

かがやく 女性部

32のサークルが設立 仲間の輪を広げよう！ きらきら星サークル活動

女性部とJAは、女性部の力で地域を元気にし、JAの理解を深めようと「きらきら星サークル活動」を平成28年度より開始しました。

女性部活動やJAを広く知ってもらおう契機となるよう、メンバーには女性部員が3人以上加入していれば、部員外の地域住民など、誰でも参加できるようにしました。仲間の輪を広げ、部員拡大に繋がる事を目指しています。これまでに32のサークルが立ち上がり、75人以上の地域住民を仲間に迎え入れて活動を展開。それぞれのグループが、ものづくりや手話、体操や食に関する活動など、幅広い自主的な活動を展開しています。

女性部が活動経費を助成するほか、JAは講師の紹介や場所の提供などで支援しています。



宮野目支部では地域住民2人を迎え、初心者向け家庭菜園サークル「ひよっこの会」を新設しました。部員のほか、地域住民にも「野菜作りの基礎を学びたい」というニーズを聞いていた支部のメンバーが企画したものです。

6月下旬の初回の講座では、地元農家からミニトマトの定植、脇芽かき、収穫までの一連の作業を学びました。斉藤和加子代表は「誰もが気軽に参加でき、農業を通じて仲間の輪を広げる場にしたい。JAの支援もあり、活発な活動ができる」と笑顔を見せました。



心を耕し未来へ 食と農の掲示板

収穫を通して園児と交流
～かめがもりブルーベリー収穫祭～



おいしいブルーベリーに、たくさんの笑顔が溢れました



交流を深めながら味わった収穫祭

花巻市大迫町の山口集落は7月11日、集落のブルーベリーほ場に地元の亀ヶ森保育園を招き、「かめがもりブルーベリー収穫祭」を開きました。

3～5歳児の園児や集落の構成員、JAなど28人が参加しました。園児たちは、集落の構成員などから「黒い実を採るんだよ」と教わりながら、園児の背丈ほどの木にたわわに実った大粒のブルーベリーを収穫。採れたての実を頬張り、「甘いけど少し酸っぱい」「こっちはとっても甘い！」と味わい、ブルーベリーの味を学びました。収穫を通して集落の構成員やJA職員などの交

流も深め、ほ場はたくさんの笑顔で溢れました。また、家庭への土産用として、おいしそうな実を選びパックに詰めて持ち帰りました。5歳児クラスの菊池采花ちゃんは「甘くておいしい！みんなと一緒に食べて楽しかった。家にも持って帰る」と笑顔を見せました。

この収穫祭は、地域の力で園児を育てていこうと集落が10年以上続けている企画。集落の高橋義信さんは「今年も園児に楽しんでもらえた。この収穫祭は園児が毎年楽しみにしていて、学びの場でもある。これからも続けていきたい」と話しました。